

株式会社アールプランナー
機関投資家・アナリスト向け2023年1月期第2四半期決算説明会 質疑応答要旨

【日 時】 2022年9月12日（月）15：00～15：30 実施

【当社出席者】 代表取締役社長 梢 政樹

質問1	3カ月前の2023年1月期第1四半期決算説明会では、「値上げ前の駆け込み契約の影響で受注に影響があり、足元は受注と販売は徐々に戻っていて今後もそのトレンドが続く見通し」とコメントされていましたが、この3か月を振り返って当時の見通しが悪化したという理解でよろしいでしょうか。 また、資材価格の高騰も第1四半期がピークで、利益率低下も一時的とのコメントでしたが、この第2四半期も資材価格が高騰したとのことで、こちらも見通しが悪化したということでしょうか。
回答1	夏にかけて受注が戻る想定でしたが、販売価格を改定したことと消費者側が先行き不安などから予算を絞る傾向とが重なり、計画通りに受注が伸ばせなかったという状況がありました。情報収集を進め、対策に取り組んでおります。利益率が低下したことに関しましても、2023年第1四半期決算説明会の時点ではウッドショックの影響がメインとなっておりますが、第2四半期はその後のウクライナ情勢による資源・資材価格上昇の影響も受けたと考えております。
質問2	これらの影響について下期に回復する見通しということですが、再度悪化する可能性はないのでしょうか。
回答2	木材の価格は落ち着きがみられております。それ以外の資材の価格に関しましては、まだ上昇傾向ではあるものの、現在の計画では現状以上に悪化するとは考えておりません。

以 上